

はみだしコーナー

水をキレイにしてくれる微生物

月券手に表彰状!

わたしたちにとって  
牛舎別なヒーローで賞



先日豆太郎が水再生センターに興味をもち見学へ。行ってみると未だ2人に文例して5名の方がご説明くださることに。また別の日には武蔵国分寺公園で豆太郎がクワの場所を尋ねた際、スタッフの方が現地まで連れて行ってくださり、クワミヤ虫や草木について詳しく教えてくださいました。恐らく宿にいると、皆が「興味をもってくれてとてもうれしい」とニコニコ。豆太郎は大よろこび、あたしは月句がいっぱいにたて出来事でした。You're our hero!

矢張りなPOINT

個人的な「困った!」も実は政治につながっている!  
困りごとについて一糸者に考えてくれる身近な窓口

- 1 まずは気軽に!
- 2 一緒に考えよう!
- 3 重き出そう!



事務所にメールするもよし、友人を介すもよし。不定期月で開かれる「マサーヨがきく」に行くもよし。事務所は小柄くない窓アットホームで思っていたのちがった〇〇!

声を受けて小土坂さんは... 議会での発言につなげるだけでなく、開門連各所にヒアリングすることも。

常に国分寺・生活者ネットワークのイ中明たちと話し合っています。すぐに解決できることばかりではありませんが「じっくり多面的に一糸者に」考えます。(小土坂さん談)

こんな木目言葉があったよ! 一部をご紹介します★

【不登木文について】  
保護者の声がとてもよくまとまっていたので直接教育委員会に要望書を提出することを提案。市に提出し、直接話す機会が。その後保護者同士つながりもできたそうです!

【学級及文庫について】  
PTAの負担が大きい現状。土日の団体貸出を要望し、司書との夢が見えるきっかけづくりもご案内されたそうです!

糸編集後記  
自分の小出しや要望は案外イセの人も感じていることかもしれません。国分寺には不登木文や自然と環境など様々なテーマについて考えている団体や市の担当課があることを知りました。小出しをあたたかく受けとめてつないでほしい、イ中明をみつけて一糸者に考えたり支え合ったり。そんな解決の仕方もいいなあと感じました★



「ちよっと困った」  
「聞いてほしい」  
「暮らしの中のちよっと困った」  
「そう言ったことをぜひわたしに伝えて欲しいです」



「とっちらかっている!」  
「それはウチでがんばります!」  
「これまでどんな声が受けられてどう変化したのかをのぞき見します!」  
「トンボをひいてつかまえて下さい!」  
「どうしたらいいかなあ」  
「これはウチでがんばります!」



「どうかこの木を七からないでください。とてもすきな木で、もう何十年もここにあります。」  
「いたまたかが書かれたセツ実なメモが貼ってあって...」

アヒザをついて5分: 恐縮しまくりの母、大興奮の豆太郎。